

日本共産党
羽村市議団

12月議会が始まります(12/ 5~ / 20) 市民の声を議会にとどけて頑張ります

羽村市の12月議会がスタートします。日本共産党3名の議員団は、市民の声を市政にとどけるため、全力でがんばります。

12月5日(水)~7日(金) 午前10時~ 本会議
11日(火) 午前10時~ 経済委員会
午後1時半~ 厚生委員会
12日(水) 午前10時~ 総務委員会
20日(木) 午前10時~ 本会議(最終日)

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています
(傍聴席は市役所の5階です)



鈴木たくや
議員

小中学校での少人数学級実現にむけ、努力を
どの子も確かな学力をつけ、人間として成長できる学校教育
になるよう、少人数学級の実現を求めます。

ダイオキシンなど環境調査の充実を
西多摩衛生組合がおこなっている環境調査で、ダイオキシン
類の値が上昇しています。まず、環境調査を充実し、市民の健
康を守る責任を果たすよう市に求めます。

ハローワーク求人情報・相談窓口設置を
誰もが利用しやすいハローワーク窓口の設置を提案します。
米軍再編が進む中、横田基地について問う
ますます危険な役割をになう横田基地について問います。



中原雅之
議員

後期高齢者医療制度について
来年4月から実施予定となっている75歳以上の市民を対
象にした「後期高齢者医療制度」。

これまでの制度にくらべ、負担が増えることが予想されま
す。高齢者の負担を軽くするために、羽村市が努力すべきで
はないかと質問します。

羽村市史編さんについて
昭和49年に羽村町史が発刊され、すでに33年が経過し
ています。羽村市史編さんについて計画的に取り組むべきで
はないかという立場で質問します。



市川英子
議員

高齢者の日常生活支援について
介護保険の改悪の影響を受け、日常生活に支障をきたしてい
る高齢者への「市単独支援」と、介護保険対象外の高齢者にた
いする「日常生活維持のための低額な独自支援」を求めます。

妊産婦の無料健診を増やすべき
出産までに14回程度受診することが望ましいとされている
妊産婦健診。「経済的理由」などで未受診の妊婦が増えていま
す。無料健診を増やすよう求めます。

福生病院について
新病院の一部オープンを来年度に控える福生病院。病院の要
となる内科医が不足しています。市民の命と健康に責任を負う
病院となるよう質問します。

無料法律相談のお知らせ

12月11日午後1時30分からです。予約は、鈴木議員の携帯電話まで。(080-1058-9450)



2007年12月2日 No.875
発行 羽村民報編集委員会 責任者 野崎 衷
事務所 電話 579-2132 Fax 579-2106